

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、ご購入いただいております「SBIワールドラップ・セレクト」は、去る2024年8月13日に第8期の決算を行いました。

当ファンドは、主に投資信託証券に投資を行うことを通じて、インカム収益の確保を重視し、中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行ってまいりました。

ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引立て賜りますようお願い申し上げます。

第8期末 (2024年8月13日)

基準価額	8,629円
純資産総額	911百万円
第8期	
騰落率	△ 1.2%
分配金(課税前)合計	0円

(注1) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

(注2) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しています。

(注3) 当報告書における比率は、表示桁未満を四捨五入しています。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、右記ホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。
- 運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

< 運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法 >
右記URLにアクセス⇒「ファンド情報」⇒「当該ファンド」を選択⇒「目論見書・定期レポート等」を選択⇒「運用報告書(全体版)」より該当の決算期を選択ください。

SBIワールドラップ・セレクト

追加型投信/内外/資産複合

交付運用報告書

第8期 (決算日: 2024年8月13日)

作成対象期間 (2023年8月15日~2024年8月13日)

 SBI Asset Management

SBIアセットマネジメント株式会社

東京都港区六本木1-6-1

お問い合わせ先

電話番号 03-6229-0097

受付時間: 営業日の9:00~17:00

ホームページから、ファンドの商品概要、レポート等をご覧いただけます。

<https://www.sbiam.co.jp/>

運用経過

基準価額等の推移

(2023年8月15日～2024年8月13日)



期 首： 8,733円

期 末： 8,629円 (既払分配金 (課税前) : 0円)

騰 落 率： △ 1.2% (分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、分配金 (課税前) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首 (2023年8月14日) の値が基準価額と同一となるように指数化しております。なお、上記表示期間に収益分配が行われなかった場合、基準価額と分配金再投資基準価額の推移は同一のものとなります。
- (注4) 当ファンドは、特定のベンチマーク (運用成果の目標基準) や参考指数を設けておりません。
- (注5) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

当期における基準価額の主な変動要因は、以下の通りとなります。

当ファンドの基準価額に対するプラス要因

- ・2023年10月から12月にかけて、2024年の利下げ観測が強まるなかで先進国債券および先進国株式が上昇したこと。

当ファンドの基準価額に対するマイナス要因

- ・主に2024年1月から4月にかけて、米国のインフレの加速と堅調な経済指標の発表を受けて2024年中の利下げ期待が後退したことから、先進国の債券市場が下落したこと。
- ・2024年7月後半から8月にかけて、テクノロジー銘柄を中心に世界株式が下落したこと。

1万口当たりの費用明細

(2023年8月15日～2024年8月13日)

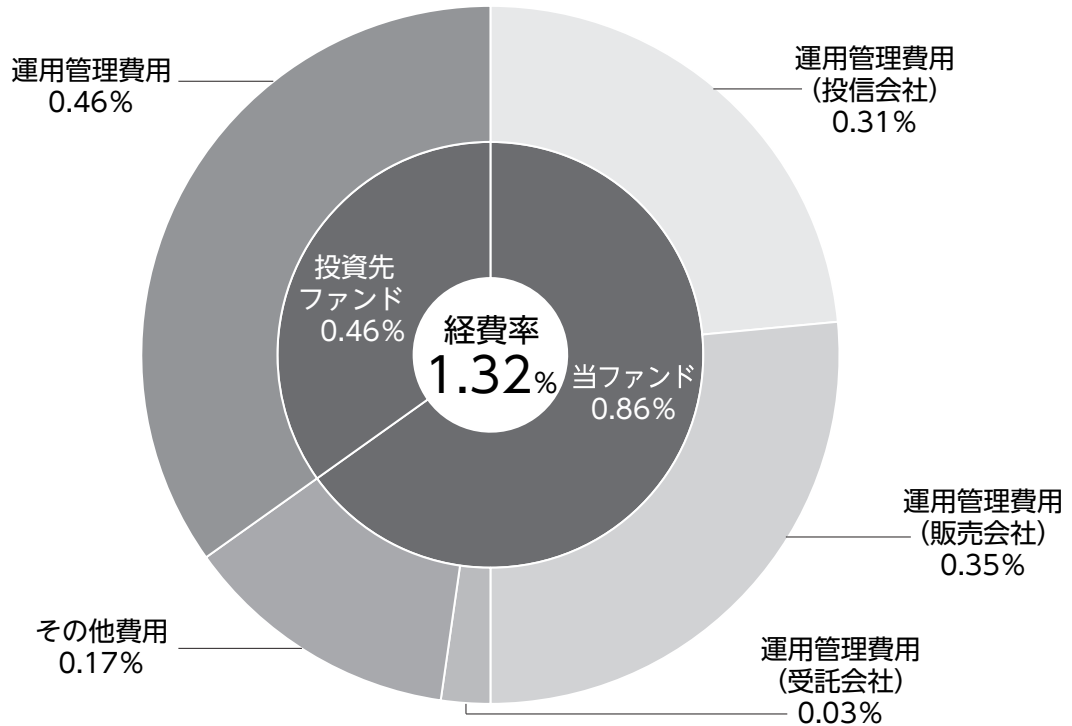
項 目	当期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	59 円	0.691 %	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(26)	(0.307)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(30)	(0.351)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(3)	(0.033)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	14	0.166	(b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(6)	(0.066)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印 刷)	(9)	(0.100)	開示資料等の作成・印刷費用等
合 計	73	0.857	
期中の平均基準価額は、8,601円です。			

- (注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。
(注3) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
(注4) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。
(注5) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
(注6) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。
(注7) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

○経費率（投資先ファンドの運用管理費用以外の費用を除く。）

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した経費率（年率）は1.32%です。



経費率 (①+②)	1.32%
①当ファンドの費用の比率	0.86%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.46%

- (注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。
(注3) 各比率は、年率換算した値です。なお、四捨五入の関係により、合計が一致しない場合があります。
(注4) 投資先ファンドとは、当ファンドまたはマザーファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）です。
(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
(注6) ①と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
(注7) 投資先ファンドには運用管理費用以外の費用がある場合がありますが、上記には含まれておりません。
(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2019年8月13日～2024年8月13日)



- (注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したとみなして計算したファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金の再投資についてはお客様がご利用のコース等により異なります。また、ファンドの運用経過については、当ファンドのパフォーマンスを示したものであり、ファンドの購入価額により課税条件等が異なるため、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、2019年8月13日の値が基準価額と同一となるように指数化しています。なお、上記表示期間に収益分配が行われなかった場合、基準価額と分配金再投資基準価額の推移は同一のものとします。

	2019年8月13日 決算日	2020年8月13日 決算日	2021年8月13日 決算日	2022年8月15日 決算日	2023年8月14日 決算日	2024年8月13日 決算日
基準価額 (円)	10,134	9,912	10,090	9,184	8,733	8,629
期間分配金合計 (課税前) (円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△ 2.2	1.8	△ 9.0	△ 4.9	△ 1.2
純資産総額 (百万円)	3,424	2,802	2,126	1,550	1,211	911

- (注1) 当ファンドは、特定のベンチマーク(運用成果の目標基準)や参考指数を設けておりません。
- (注2) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しています。
- (注3) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。小数点第一位未満を四捨五入しています。

投資環境

(2023年8月15日～2024年8月13日)

<世界金融市場>

当期間中、株式、国債は上昇しました。2023年8月～12月の株式については、経済の軟着陸を示す経済指標やFRB（米国連邦準備制度理事会）がハト派姿勢を強め、米国の政策担当者が2024年の利下げを予想したことが好感され年末にかけて先進国株式、新興国株式は上昇しました。債券については、米国の政策金利の高止まり懸念から米国10年国債利回りが期間中一時5.0%を上回る場面も見られましたが、年末にかけて2024年の利下げ観測が強まるなかで、先進国債券は上昇（利回りは低下）しました。日本国債は、日本銀行がゼロ金利政策を解除するとの見方が広がるなか、他市場と比べて上昇（利回りは低下）は限定的となりました。2024年1月～8月の株式については、6月まではAI（人工知能）関連や半導体関連銘柄などのテクノロジー銘柄が主要中央銀行の利下げ期待を背景に年初から米国株式を牽引してきました。7月に入り、中国への先進国の半導体輸出規制などの政策リスクや、軟調な米国インフレ率による早期の利下げ期待が高まったことなどからテクノロジー銘柄が大きく売られ、一方でバリュー銘柄が選好されるといった大きなローテーションが見られ、当期末にかけて失速する動きとなりましたが、当期を通じては先進国株式、新興国株式ともに上昇しました。債券については、利下げ期待に左右され期中は一進一退の動きとなりました。その後、ECB(欧州中央銀行)やカナダなど主要国の利下げが相次ぎ、FRBも2024年9月に利下げを行うとの期待が高まったことを受けて当期末にかけて先進国債券は上昇（利回りは低下）しました。

<国内短期金融市場>

国庫短期証券3ヵ月物の利回りは、日本銀行による3月のマイナス金利政策の解除および7月の政策金利引き上げの影響等から、期初は0%を下回る水準であったものの、期末時点においては0.132%程度の水準となりました。

当ファンドのポートフォリオ

(2023年8月15日～2024年8月13日)

当ファンドは、投資先ファンドであるケイマン籍円建て外国投資信託「UBSユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ－新生・ワールドラップ・ファンド・ステーブル・タイプ（適格機関投資家限定）円ヘッジクラス」受益証券（以下「投資先ファンド」といいます）と、「新生 ショートターム・マザーファンド」受益証券を主要投資対象としています。当期は「投資先ファンド」への投資割合を高位に保ち、「新生 ショートターム・マザーファンド」を一部組入れた運用を行いました。

<投資先ファンド>

当期においては、変動リスクの高い足もとの市場環境を受けて、先進国債券、先進国株式のウェイトを引き下げ、現金等のウェイトを引き上げました。

<新生 ショートターム・マザーファンド>

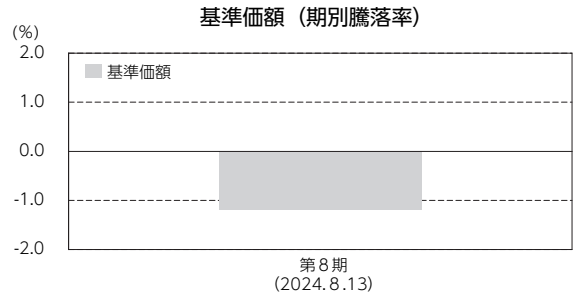
新生 ショートターム・マザーファンドでは、主として国庫短期証券等を組み入れましたが、マイナス金利政策が解除されるまでは国庫短期証券等の利回りはマイナスで推移する状況が続いたものの、4月以降は安定してプラスの利回りとなっています。当該期間において、当マザーファンドの基準価額に大きな変動はありませんでした。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2023年8月15日～2024年8月13日)

当ファンドは、特定のベンチマーク（運用成果の目標基準）や参考指数を設けておりません。

右記のグラフは、期中の期別基準価額騰落率です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（課税前）込みです。

分配金

(2023年8月15日～2024年8月13日)

当期は、当ファンドの収益分配方針に基づき、収益分配可能額を算出し、市況動向や基準価額等を考慮した結果、当期の収益分配は行わないことといたしました。

なお、収益分配にあてなかった利益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第8期
	2023年8月15日～ 2024年8月13日
当期分配金 (対基準価額比率)	— —%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	124

(注1) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

当ファンドは、引き続き、投資先ファンドの組入比率を高位に保つ方針です。

<投資先ファンド>

株式市場に対する投資先ファンドの見通しは引き続き楽観的であり、米国経済と世界経済の両方がソフトランディングに向かうと予想しています。すなわち、経済成長とインフレは減速するものの、景気後退は起こらないと考えています。このようなシナリオでは、企業収益が引き続き増加し、主要中央銀行が金融政策を緩和する可能性が高いため、株式市場はその恩恵を受けられると思われます。一方で、投資先ファンドのこうした楽観的な見方はふたつの要因によって抑制されています。第1に、株式のバリュエーションが多く市場ですでに高い水準に達していること、第2に、コアインフレが依然として高止まっているため、利下げの余地は限られていることです。さらに、経済指標は、成長が期待される地域が変わりつつあることを示しています。投資先ファンドでは、こうした動きは、多くの経済分野と市場セグメントにおける新たな投資機会につながる可能性があると考えています。ただし、投資家の期待に届かない場合や、政治情勢が不安定になるとボラティリティが高まるリスクがあります。

最近の先進国国債は、過去数年と異なり各々固有の値動きを示しています。各国の金融・財政政策はそれぞれ異なる方向に向かっており、政治的介入によってその乖離が拡大する可能性があります。米国内債（およびその他の債券）のイールドカーブは、引き続き歴史的な水準でフラット化していますが、この環境はまもなく変わると予想しています。現時点では、米国とドイツのイールドカーブは、主要中央銀行が緩和的な政策を行うに伴い2024年の後半にスティープ化すると予想しています。さらに、高格付社債は業績が概ね健全でありデフォルト率も安定推移しており、金融緩和的な環境などから追加的なリターン源泉として投資妙味が高いと考えます。一方、ハイ・イールド債のバリュエーションには注意が必要です。したがって、債券に対して異なるアプローチとリスク・リターンを考慮すべきだと考えています。

<新生 ショートターム・マザーファンド>

日本銀行は、2024年3月に先行きの見通しについて、2%の「物価安定の目標」が持続的・安定的に実現していくことが見通せる状況に至ったと判断し、マイナス金利政策等を終了しました。さらに7月には国内の経済や物価が見通しに概ね沿って推移していると判断し、政策金利を0.25%程度に引き上げました。先進国において最も金利の低い円金利の見通しは、一部の海外投資家にとっては調達通貨としての一面もあることから彼らの投資行動に影響を与える可能性があります。今後も日本銀行による政策金利引き上げに関する観測は、国内外の金融市場の変動性を高める要因となる可能性があります。マザーファンドでは引き続き当初の運用計画に基づき、国庫短期証券等に投資していく予定です。

お知らせ

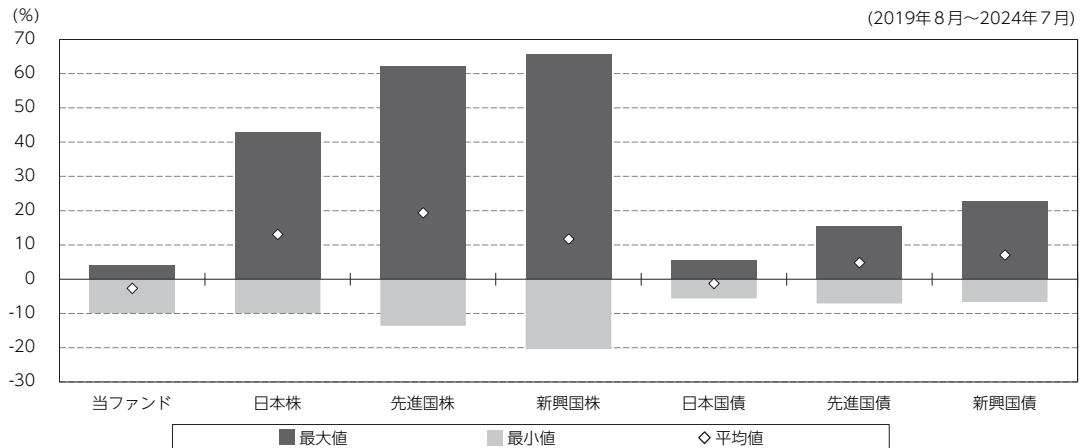
- ・2023年11月15日に、ファンド名称を「新生・ワールドラップ・セレクト」から変更しました。
- ・2024年5月15日、投資先ファンドの名称が「UBSユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ－新生・ワールドラップ・ファンド・ステーブル・タイプ（適格機関投資家限定）円ヘッジクラス」へ変更されたことに伴い、信託約款の変更を行いました。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	信託期間は約9年8ヵ月（2016年12月16日～2026年8月13日まで） クローズド期間はありません。	
運用方針	当ファンドは、主に投資信託証券に投資を行い、インカム収益の確保を重視し、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行います。	
主要投資対象	ケイマン籍円建て外国投資信託 「UBSユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ－新生・ワールドラップ・ファンド・ステーブル・タイプ（適格機関投資家限定）円ヘッジクラス」受益証券	世界の株式・債券・リートおよびコモディティ等へ分散投資を行います。
	証券投資信託 「新生 ショートターム・マザーファンド」受益証券	主としてわが国の短期公社債および短期金融商品等に投資します。
運用方法	<p>①ケイマン籍円建て外国投資信託「UBSユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ－新生・ワールドラップ・ファンド・ステーブル・タイプ（適格機関投資家限定）円ヘッジクラス」（以下、「投資対象ファンド」といいます。）受益証券及び親投資信託である「新生 ショートターム・マザーファンド」受益証券（金融商品取引法第2条第1項第10号で定めるものをいいます。）を主な投資対象とします。投資先ファンドへの投資を通じて、実質的に世界の株式・債券・リートおよびコモディティ等へ分散投資を行うことにより、信託財産の成長をめざします。</p> <p>②投資先ファンドにおいて、投資先ファンドの純資産総額を米ドル換算した額とほぼ同額程度の対円における為替ヘッジ取引を行います。</p> <p>③投資先ファンドへの投資は、原則として、高位を維持することを基本とします。</p> <p>④資金動向や市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。</p>	
分配方針	<p>①分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益および売買益（評価益を含む）等の全額とします。</p> <p>②収益分配金額は、委託者が基準価額水準、市場動向等を勘案して決定します。ただし、市況動向や基準価額の水準等によって、分配金額が大きく変動することがあり、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。</p> <p>③収益分配に充てずに信託財産内に留保した利益（無分配期の利益を含みます。）については、運用の基本方針に基づき運用を行います。</p>	

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位：%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	4.0	42.8	62.2	65.6	5.5	15.3	22.7
最小値	△ 9.8	△ 9.9	△ 13.6	△ 20.4	△ 5.6	△ 7.1	△ 6.6
平均値	△ 2.7	13.0	19.4	11.7	△ 1.3	4.8	7.0

(注1) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 2019年8月から2024年7月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注3) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注4) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《代表的な各資産クラスの指数》

日本株…Morningstar 日本株式指数

先進国株…Morningstar 先進国株式指数 (除く日本)

新興国株…Morningstar 新興国株式指数

日本国債…Morningstar 日本国債指数

先進国債…Morningstar グローバル国債指数 (除く日本)

新興国債…Morningstar 新興国ソブリン債指数

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。各指数は、全て税引前利子・配当込み指数です。

*各指数についての説明は、最終ページの「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2024年8月13日現在)

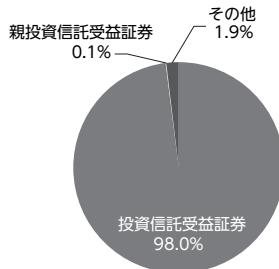
○組入上位ファンド

銘柄名	第8期末
	%
UBSユニバーサル・トラスト (ケイマン) III-新生・ワールドラップ・ファンド・ステープル・タイプ (適格機関投資家限定) 円ヘッジクラス	98.0
新生 ショートターム・マザーファンド	0.1
組入銘柄数	2銘柄

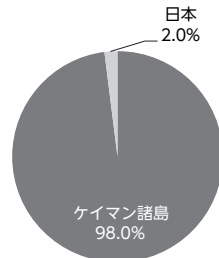
(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

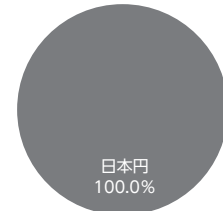
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 資産別・国別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

(注2) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しています。

(注3) 四捨五入の関係上合計が100%にならない場合があります。

純資産等

項目	第8期末
	2024年8月13日
純資産総額	911,184,512円
受益権総口数	1,055,982,312口
1万口当たり基準価額	8,629円

(注) 期中における追加設定元本額は20,843,450円、同解約元本額は352,377,508円です。

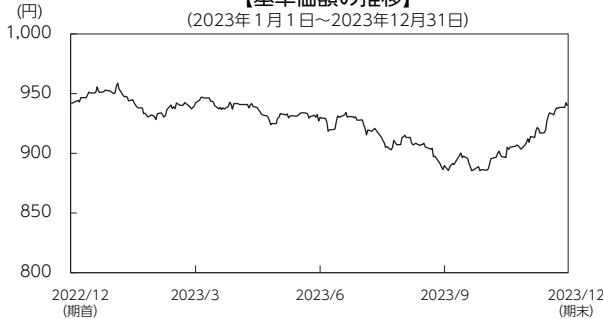
組入上位ファンドの概要

UBSユニバーサル・トラスト (ケイマン) III-新生・ワールドラップ・ファンド・ステーブル・タイプ (適格機関投資家限定) 円ヘッジクラス

作成時点において、入手可能な直前計算期間の年次報告書をもとに作成しております。

【基準価額の推移】

(2023年1月1日~2023年12月31日)



【1万円当たりの費用明細】

入手可能な費用明細のデータが存在しないため、掲載していません。

- (注1) 投資先ファンドの2023年1月1日から直近決算日(2023年12月31日)までの基準価額の推移を表示しています。
- (注2) 分配金再投資基準価額は、分配金(課税前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを表示するものです。分配金再投資基準価額は、基準価額とは異なります。
- (注3) 投資先ファンドにより支払われた分配金は、当ファンドが受領しています。

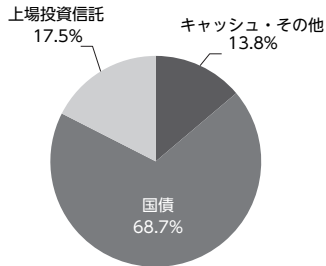
【組入上位10銘柄】

(2023年12月31日現在)

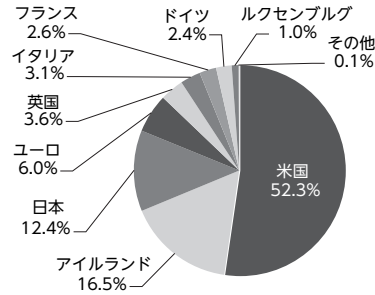
	銘柄名	国(地域)	建通貨	種別	額面金額	評価額(日本円)	比率
							%
1	ISHARES CORE MSCI WORLD UCITS ETF CL USD ACC	アイルランド	米ドル	上場投資信託	8,242	104,915,085	9.6
2	UNITED STATES TREASURY NOTE	米国	米ドル	国債	752,000	103,755,815	9.5
3	UNITED STATES TREASURY NOTE	米国	米ドル	国債	520,000	69,051,341	6.3
4	UNITED STATES TREASURY NOTE	米国	米ドル	国債	472,000	66,498,370	6.1
5	UNITED STATES TREASURY NOTE	米国	米ドル	国債	493,000	66,055,132	6.1
6	UNITED STATES TREASURY BOND	米国	米ドル	国債	766,000	58,525,885	5.4
7	UNITED STATES TREASURY NOTE	米国	米ドル	国債	401,000	51,871,216	4.8
8	ISHARES CORE MSCI WORLD UCITS ETF CL USD ACC	アイルランド	米ドル	上場投資信託	3,722	47,723,971	4.4
9	UNITED STATES TREASURY BOND	米国	米ドル	国債	303,000	46,342,873	4.2
10	UNITED STATES TREASURY NOTE	米国	米ドル	国債	259,000	32,836,763	3.0
	組入銘柄数				48銘柄		

- (注1) 比率は投資先ファンドが属するシリーズ・トラストの純資産総額に対する割合です。
- (注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。
- (注3) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。
- (注4) 上記内容は投資先ファンドが属するシリーズ・トラストとしての運用状況を示しております。

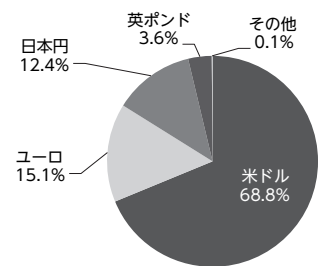
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】

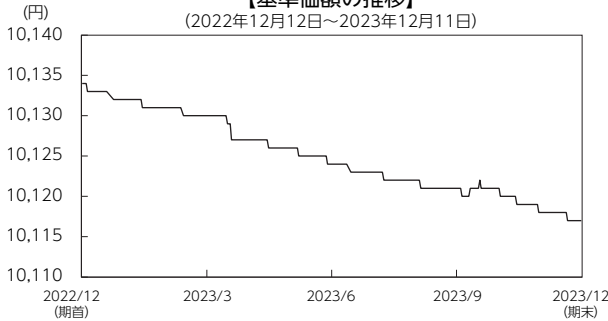


- (注1) 比率は投資先ファンドが属するシリーズ・トラストのポートフォリオに対する割合です。
 (注2) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。
 (注3) 上記内容は投資先ファンドが属するシリーズ・トラストとしての運用状況を示しております。
 (注4) 四捨五入の関係上合計が100%にならない場合もあります。

新生 ショートターム・マザーファンド

【基準価額の推移】

(2022年12月12日～2023年12月11日)



【1万円当たりの費用明細】

該当事項はございません。

【組入上位10銘柄】

(2023年12月11日現在)

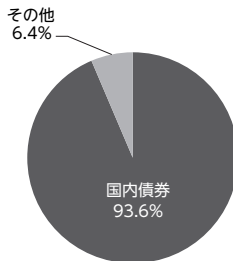
銘柄名	業種／種別等	通貨	国 (地域)	比率
1 第1184回国庫短期証券	国債証券	日本円	日本	93.6%
2 -	-	-	-	-
3 -	-	-	-	-
4 -	-	-	-	-
5 -	-	-	-	-
6 -	-	-	-	-
7 -	-	-	-	-
8 -	-	-	-	-
9 -	-	-	-	-
10 -	-	-	-	-
組入銘柄数		1 銘柄		

(注1) 比率は、純資産総額に対する割合です。

(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

(注3) 国（地域）につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注1) 比率は当マザーファンドの純資産総額に対する割合です。

(注2) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注3) 資産別配分、国別配分、通貨別配分は小数点第2位で四捨五入しているため、合計が100%に満たない場合があります。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書（全体版）をご参照下さい。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

<各指数の概要>

- 日本株：Morningstar 日本株式指数は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、日本に上場する株式で構成されています。
- 先進国株：Morningstar 先進国株式指数（除く日本）は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、日本を除く世界の先進国に上場する株式で構成されています。
- 新興国株：Morningstar 新興国株式指数は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、世界の新興国に上場する株式で構成されています。
- 日本国債：Morningstar 日本国債指数は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、日本の国債で構成されています。
- 先進国債：Morningstar グローバル国債指数（除く日本）は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、日本を除く主要先進国の政府や政府系機関により発行された債券で構成されています。
- 新興国債：Morningstar 新興国ソブリン債指数は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、エマージング諸国の政府や政府系機関により発行された米ドル建て債券で構成されています。

<重要事項>

本ファンドは、Morningstar, Inc.、又はモーニングスター・ジャパン株式会社を含むMorningstar, Inc.が支配する会社（これらの法人全てを総称して「Morningstarグループ」と言います）が組成、推薦、販売または宣伝するものではありません。Morningstarグループは、投資信託への一般的な投資の当否、特に本ファンドに投資することの当否、または本ファンドが投資対象とする市場の一般的な騰落率と連動するMorningstarのインデックス（以下「Morningstarインデックス」と言います）の能力について、本ファンドの受益者又は公衆に対し、明示又は黙示を問わず、いかなる表明保証も行いません。本ファンドとの関連においては、委託会社とMorningstarグループとの唯一の関係は、Morningstarのサービスマーク及びサービス名並びに特定のMorningstarインデックスの使用の許諾であり、Morningstarインデックスは、Morningstarグループが委託会社又は本ファンドとは無関係に判断、構成、算定しています。Morningstarグループは、Morningstarインデックスの判断、構成又は算定を行うにあたり、委託会社又は本ファンドの受益者のニーズを考慮する義務を負いません。Morningstarグループは、本ファンドの基準価額及び設定金額あるいは本ファンドの設定あるいは販売の時期の決定、または本ファンドの解約時の基準価額算出式の決定あるいは計算について責任を負わず、また関与していません。Morningstarグループは、本ファンドの運営管理、マーケティング又は売買取引に関連していかなる義務も責任も負いません。

Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータの正確性及び／又は完全性を保証せず、また、Morningstarグループは、その誤謬、脱漏、中断についていかなる責任も負いません。Morningstarグループは、委託会社、本ファンドの受益者又はユーザー、またはその他の人又は法人が、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータを使用して得る結果について、明示又は黙示を問わず、いかなる保証も行いません。Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータについて明示又は黙示の保証を行わず、また商品性あるいは特定目的又は使用への適合性に関する一切の保証を明確に否認します。上記のいずれも制限することなく、いかなる場合であれ、Morningstarグループは、特別損害、懲罰的損害、間接損害または結果損害（逸失利益を含む）について、例えこれらの損害の可能性を告知されていたとしても責任を負いません。